



O'S NEWS

顔面痙攣に対する低侵襲脳神経減圧手術について

脳神経外科部長 脳腫瘍・頭蓋底外科センター長 高橋 賢吉

顔面痙攣は、片側の顔の筋肉(目元や口元)がピクピクと痙攣する病気で、この痙攣が頻繁に起こるようになると日常生活に支障をきたします。原因は、小脳の動脈が顔面神経を圧迫することにより痙攣が生じる病気ですが、多くの場合、薬物療法やボトックス注射(筋肉を麻痺させる注射)では効果が不十分であったり、3ヶ月毎に注射をし続ける必要があり、根本的な治療法として手術が有効な選択肢となります。

「顔の痛みとけいれんの専門外来」と手術実績の増加

当院では、三叉神経痛や顔面けいれんの診断・治療に特化した「顔の痛みとけいれんの専門外来」を2023年より開設いたしました。専門外来の開始以降、ご相談いただく患者様が増加しており、手術件数も増えています。2024年には年間17例の微小神経血管減圧手術を行いました。手術を受けられた方の平均年齢は52歳で、69%が女性でした。76%の患者様は、明石市外(淡路市、姫路市、神戸市等)から来られています。多くの方は、内服治療は効果がなく、20%程度の方はボトックス注射も試されましたが効果が乏しいため、手術を決断されています。

手術方法:より負担の少ない低侵襲手術へ

当院で行う手術は、神経を圧迫している血管を移動させて圧迫を解除する方法が基本です。痛みの原因となっている血管(主に小脳動脈)を慎重に神経から剥がし、移動させて圧迫を取り除きます。穿通枝と呼ばれる細い血管が妨げとなり移動できない場合には、神経と血管の間にクッションを挟んで減圧を行います。

患者さんへの負担をより少なくするため、2024年からは、より小さな傷で行う低侵襲手術を導入しています。具体的には、頭蓋骨に開ける穴を直径約2cmのキーホール(鍵穴)と呼ばれる小さなものにする手法です。これにより、従来法に比べて筋肉や骨へのダメージを最小限に抑えることができます。

この低侵襲手術の導入により、手術時間も大幅に短縮されました。従来(2023年まで)の平均手術時間218分(約3時間40分)に対し、低侵襲手術では平均114分(約2時間)と、約48%の時間短縮を実現しており、患者さん

の体への負担軽減と早期回復につながっています。

手術の治療成績

低侵襲手術により、現在では約2時間の手術と約1週間の入院で治療が可能です。93%の患者様で術後に痙攣の消失が得られております。安全性には最大限配慮しておりますが、全ての手術にはリスクが伴います。過去5年間(26例中)の実績では、術後に聴力障害(聞こえにくさ)をきたした方が1例、軽度の顔面麻痺が1例、感染により再手術を要した方が1例おられました。手術により92%の患者さんの痙攣が術後に消失しましたが、再発をきたした方はおられません。

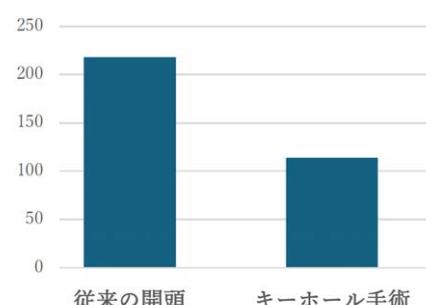
ご相談ください

片側顔面のつらいけいれんでお悩みの方、内服治療やボトックス注射の効果が乏しいと感じている方で、手術治療をご検討されている場合は、ぜひ一度、当院の「顔の痛みとけいれんの専門外来」にご相談ください。患者さん一人ひとりの状態やご希望をお伺いし、手術のメリット・デメリットを含めて最適な治療法をご提案いたします。まずはお気軽にお問い合わせください。

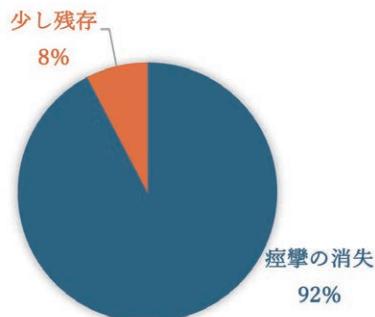
「顔の痛みとけいれんの専門外来」
毎週月曜日の終日 高橋賢吉

*受付で専門外来受診希望とお伝え頂ければ、予約なしで診察いたします。

顔面痙攣の手術時間(分)



手術による痙攣の改善効果



大切な方が安心して過ごせるように

南4階病棟・HCU 看護師 福久 愛里

大切な方が突然の病気や手術でHCUに入院され、戸惑いや不安な気持ちを抱えていることだと思います。

HCUでは、手術後や病状が安定するまでの間に集中的な観察や治療を行う病棟です。医師・看護師・リハビリスタッフ・栄養士・薬剤師など多くの専門職がチームとなり、患者さんが少しでも早く回復できるよう、24時間体制で支えています。

私たちは治療だけでなく、「そのひとらしさ」を大切にしたケアを心がけています。入院前に大切にされていた持ち物や写真、音楽などご本人の安らぎにつながるものがあればぜひお持ちください。こちらからも持参してほしいものご連絡をさせていただくこともあると思います。ご家族の協力が患者さんの回復の力になります。

本人、ご家族の想いに寄り添いながら安心して過ごしていただけるようにスタッフ一同心を込めてサポートいたします。

不安なことや相談がありましたら、いつでもお声かけください！



ITシステム課の業務について

ITシステム課 ときのかのう
解和

ITシステム課員は、医療現場を支える情報システムの専門家です。

電子カルテや予約システム、検査機器との連携など、院内のIT環境を整備・運用し、医療従事者の方々が円滑に業務を行えるよう支援を行っています。院内のトラブル対応やシステムの更新だけでなく、現場の声を聞きながら業務改善の提案も行います。医療の質と安全性を高めるため、技術と現場理解の両方が求められるなど、難しい役割を担う側面もあります。患者さんに直接関わることは少ない部署ですが、安心して診療を受けられる環境づくりに日々努めています。



また、2025年10月より、当院では新しい電子カルテが稼働しております。

受付→診察→お会計までの流れが一新され、10月以降にお越しになられた方は驚かれたかもしれません。院内システム全体の安定稼働はもちろんのこと、患者さんにはよりスムーズで快適な診療を受けていただけるよう、これからも積極的に改善・提案を行ってまいります。

二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

12月(師走) 師走を迎えるにあたる慌しい毎日、街は明るいイルミネーションに包まれます。



12/2~6(六十候) 橘始黃／たちはなはじめてきばむ

長寿や子孫繁栄の象徴として、また吉祥文様として、着物や家紋に用いられてきた「橘」が色づく頃。「西吹けば 東にたまる 落葉かな 与謝蕪村」
吹いてくる冷たい風に冬の匂いが漂ってくる何気ない今頃の景色をうたった蕪村らしい一句です。



12/7~11(六十一候) 閉塞成冬／そらさむくふゆとなる

冬本番、北海道の平野部で降った雪が春先まで残る「根雪」になります。古来から雪が多いほど豊作になると見え、「雪は五穀の精」「雪は豊作の瑞」などの言葉が残ります。六角形の雪をモチーフとした「雪輪文様」。吉祥文様として、着物、お宮参り、和小物等に使われます。



12/12~16(六十二候) 熊蟄穴／くまあなにこもる

今年も多くの熊のニュースに心が痛みました。私達に問い合わせられる課題は計りません。江戸時代12月13日は家の内外を大掃除する「煤払い(すすはらい)」の日、そして「正月事始め」の日とされました。昔ながらの「ハタキ」が活躍したそうです(^ ^)



12/17~21(六十三候) 鮓魚群／さけのうおむらがる

海で成長した鮭が、生まれた川を、遡り産卵をする頃。年末年始の贈答品として江戸の頃から愛され、受け継がれる保存食「新巻鮭」。塩漬けにされかつては荒いムシロで巻いたことから、「荒巻」と呼び、今では「新巻」の字に。



12/22~25(六十四候) 乃東生／なつかれくさしょうず

冬の街はイルミネーションに彩られ、クリスマス、忘年会など活気にあふれます。ヨーロッパでは、指折り数えて待つクリスマスのカレンダー「アドベントカレンダー」を飾ります。「ローストターキー」「ブッシュ・ド・ノエル」「シュトーレン」など、クリスマスならではの特別なお料理、日本でもすっかりおなじみですね。



12/26~30(六十五候) 糜角解／さわしかのつのおつる

いよいよ大晦日を迎えます。各地の神社では、「年越しの祓(はらえ)」が行なわれ、108回の除夜の鐘が鳴り響きます。神仏と仲よく暮らす日本人ならではの光景ですね。「今年もありがとうございました」「来年もよろしくお願ひいたします」「どうぞよいお年をお迎えください」



その1 鮭のお話

焼き魚、お刺身など日本人に愛される「鮭」。1世帯当たりの年間購入量は2.6kg(2020年農林水産省)で、日本で一番消費されている魚です。ちなみに2位のマグロの1.3倍、全世界の鮭の10%以上を日本人が食べている計算になるとのこと。「サーモンピンク」と呼ばれるやさしい色ですが、実は鮭は「白身魚」に分類されます。ミオグロビン(筋力中の血色素)の含有量で決まります。(鮭は少ない)鮭が好むエビ、カニ、オキアミに含まれる「アスタキサンチン」によりあのオレンジ色に。この「アスタキサンチン」は強力な抗酸化作用があり、老化を緩やかにしてくれる強い味方です。 つづく



外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

	月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前 高橋(顔)	大西(宏)	久我	茶谷	三好
	午後 高橋(血)	大西(宏)(血)	久我	茶谷	三好
2診 【予約制】	午前 前岡	岡本	角田	富士井	酒井
	午後 前岡	岡本	角田	吉村	一
3診	午前 担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
5診	午後 担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診 【予約制】	午前 一	一	一	吉村	担当医(血)/麻酔科 鈴木
	午後 脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平林	脊椎・脊髄外来 山本
7診 【予約制】	午前 脳神経内科 石田	一	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田
	午後 脳神経内科 石田	一	一	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田(FUS)

*診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30

*毎週金曜日9:20~ 6診 麻酔科 鈴木 (2025.12)

*第1・3週金曜日9:30~12:30、13:30~16:30 7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.281

ふせ耳鼻咽喉科



院長:布施 愉香

【認定資格・所属学会】日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定

耳鼻咽喉科専門医、医学博士、補聴器相談医、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

【診療科目】耳鼻いんこう科・アレルギー科

【住所】高砂市荒井町東本町1-27

【電話】079-440-3060

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	○	/	○	▲	/
16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/

▲:9:00~13:00 休診日:木曜、土曜午後、日曜、祝日

初診の方のみ受付時間を30分早く終了しています。



布施院長からのメッセージ

耳鼻咽喉科で診るめまい、耳なり、難聴等の症状は、脳・神経と深く関わっている場合があります。

適正な診断と治療のためには、脳神経外科との連携が重要であると考えております。

No.282

明石なないろキッズクリニック



院長:林 宏昭

【認定資格・所属学会】日本外科学会外科専門医、日本小児外科学会専門医・指導医

【診療科目】小児科、小児外科

【住所】明石市立石2丁目3番26号 NTR医療ビル明石2F

【電話】078-923-7716

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	/
15:30~16:30	◆	◆	◆	◆	◆	/	/
16:30~19:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日:土曜午後・日曜・祝日 △土曜日のみ12:30まで ◆ワクチン



林院長からのメッセージ

当院は一般小児科診療に加え、外傷やでべそ、便秘などの小児外科疾患にも対応いたします。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行・編集責任者:理事長・院長 大西 宏之



ホームページ